

## 「九州を支える広域防災拠点構想」の策定について

東日本大震災を契機として、九州においても南海トラフ巨大地震など県域を超えた広範囲かつ大規模な災害が発生した場合の広域的な災害対応体制の整備が必要となっています。

このたび、九州が広域的に被災した場合に、本県が中心となって被災県を支援する体制を整備するため、「九州を支える広域防災拠点構想」を策定しましたので、お知らせします。

今後、本県が九州における広域防災拠点としての役割を担っていけるよう、基盤や機能の充実・強化を促進していきます。

### 1 目的

広域防災拠点として求められる機能について、熊本地域が保有しているポテンシャルや優位性を明確にし、熊本県が九州を支える防災拠点として貢献していくという自負を持つとともに、九州各県や国においても認知され、熊本地域が真に九州における広域防災拠点としての役割を担っていけるよう、基盤や機能の充実・強化を促進することを目的とする。

### 2 内容

#### (1) 熊本の防災拠点としての優位性

- ① 九州の中央に位置し、被災県への支援活動拠点として最適
- ② 陸上自衛隊西部方面総監部など防災拠点としての指令機能が存在
- ③ 日赤熊本県支部など災害医療体制が充実
- ④ 迅速に水や食糧などを供給する能力が高い
- ⑤ 各防災拠点が災害リスクの低い市街地の外縁部かつ内陸部に立地
- ⑥ 津波被害の心配のない内陸部に位置し、即応能力を有している阿蘇くまもと空港の存在

#### (2) 九州を支える広域防災拠点への取組み

- ① 国の合同現地対策本部（司令塔機能）を熊本県に誘致
- ② ヘリコプターを活用した情報収集体制の充実・強化
- ③ 支援物資等の集積拠点となる県産業展示場を中心とした整備
- ④ 支援部隊の集結拠点となる阿蘇くまもと空港や県民総合運動公園等の整備
- ⑤ 広域医療搬送拠点や災害医療提供体制等の充実・強化
- ⑥ 水・食料・医薬品など被災者支援物資の供給体制の充実・強化
- ⑦ 横軸をはじめとした交通基盤整備を加速化

#### 【お問い合わせ先】

知事公室危機管理防災課 井芹、鳥井  
直通 096-333-2811  
県庁内線 7812、7813